

やたい 屋台

にほんじん がいこく す ねん なつ おも だ
日本人が外国に住んで2、3年たつとむしょうに懐かしく思い出すことが
いくつもあります。それはおすしや温泉や屋台などです。屋台でおでんを食べ
ながら酒を飲んでみたいと思うだけで胸が熱くなってくるのです。

がいこく やたい やたい くに しょみん
外国にもさまざまな屋台があります。屋台をのぞくと、その國の庶民の
しょくせいかつ ひじょう
食生活がわかって非常におもしろいです。

にほん やたい やきとり や
日本の屋台では、「おでん」、「ラーメン」、「焼鳥」、「タコ焼き」、
や がいこくじんかんこうきやく にんき あさくさ
「焼きそば」がよくでています。外国人観光客に人気のある浅草では、
いちねんじゅう やたい やき
1年中いろいろな屋台がでています。これらのほかに、「焼とうもろこし」、
「あんずあめ」、「じゃがバター」、「綿あめ」、「お好き焼き」、「手焼き
せんべい」などの屋台が寺の境内にところ狭しと並んでいます。浅草が毎日
まつ にぎ にほんかくち まつ やたい か
がお祭りのような賑わいです。日本各地のお祭りでも、屋台は欠かせない
そんざい こども ころた や わた あじ おとな わす
存在です。子供の頃食べた焼きそばや綿あめの味は、大人になっても忘れら
れないものです。

にほん やたい て お ぐるま の ものや
日本の屋台は手押し車をちょっとしたレストランや飲み物屋にしたもの。
くるま いす なら やたい かいてん あめ ふ
車のまわりに椅子をいくつか並べて屋台の开店となる。雨が降るとビニー
ルシートですっぽりと包み、客が雨にぬれないように工夫されている。

わたし まち み しょみん だいこうぶつ
ふだん私たちが町で見かけるのは、庶民の大好物のおでんとラーメンの
やたい よる えきまえ やたい えきまえ いちにちはたら
屋台です。夜になると駅前に行くつかの屋台が並びます。駅前是一日働
きづくめで ころ からだ いっぱい
きづくめで心も体もくたくたのサラリーマンがちょっと一杯ひっかける
かつこう ばしょ にほん やたい た さけ の
のに格好の場所なのです。日本の屋台は食べることも、むしろお酒を飲
むために立ち寄る人のほうが多いようです。

やたい にん かた かた すわ ていど せま せま
屋台は7、8人が肩と肩をあわせながら座れる程度の狭さです。この狭さ
がまったく気取りのない親しみやすい雰囲気をつくっているのです。くつろ
さけ く か つか
いだムードで酒を酌み交わし、ビールをつぎあっているうちに、いつしか疲れ
ふ と
も吹き飛んでいってしまうのです。

さむ ふゆ ひ あつ た さいこう にほんじん
とくに寒い冬の日には熱いおでんを食べるのは、最高です。おでんは日本人
さむ ふゆ この た なべりょうり じる なか おお き だいこん
が寒い冬に好んで食べる鍋料理のことで、汁の中には大きく切った大根、
じゃがいも、ちくわ、はんぺん、こんにゃく、ゆで卵、昆布、焼き豆腐など
ぐ はい ふつう こんぶ やたい とりにく
の具が入っています。普通、だしは昆布でとりますが、屋台によっては、鳥肉
でとるところもあります。

た き ゆうじん ちじん さけ の からだ
おでんを食べながら、気のおけない友人、知人とお酒を飲んでいると、体
ころ なか あたた ふしぎ
ばかりでなく心の中までポカポカと暖かくなってくるから不思議です。

だいとかい す つか からだ やす あした かつりよく やしな
大都会に住むサラリーマンが疲れた 体 を休め、明日への活 力を 養 う

ばしょ やたい がいこくせいかつ なが にほんじん やたい なつ
場所が屋台なのです。外国生活の長い日本人が、なぜ屋台を懐かしむのか、
おわかりになったでしょうか。